

「岡山市造山古墳ビジターセンターの機能拡充に向けた基本計画の方向性（案）」に対する 意見募集（パブリックコメント）の結果について

1 意見募集の概要

- （１） 募集期間 令和８年８月２４日（月曜日）～令和８年９月２４日（木曜日）
- （２） 閲覧場所
 - ・ 観光振興課、情報公開室、各区役所（北区を除く）
 - ・ 本市ホームページ
- （３） 意見提出方法
直接持参、郵送、ファックス、電子メール、市ホームページの意見提出フォーム
- （４） 意見提出先
観光振興課

2 意見募集の結果

意見数 14 件（提出人数 3 人）

3 意見と市の考え方

該当項目	意見	市の考え方
1 基本コンセプト		
(1) 現在のビジターセンターを取り巻く現状と課題	古代吉備を総合的に学び、触れられる施設が無い。	ご指摘の通り、現在のビジターセンターは博物館的展示機能がなく出土品を展示できないこと、また古代吉備の魅力を総合的に発信する主体となる施設がないことが課題であると認識しております。この課題を解決するため、今回の機能拡充により、出土品やレプリカ等の展示を充実させ、古代吉備の歴史を体系的に学び、その魅力を体感できる環境を整えるとともに、歴史的価値を研究・発信する機能を強化いたします。
	出土物やレプリカが展示されていないため、来館者が物足りなさを感じている。	
	日本遺産構成文化財を有する近隣自治体の施設には斬新さが不足している。	

(3) 拡充の方向性	多くの自治体が展示施設を保有する中で、政令市である岡山市が中心となって機能拡充する方向性は妥当である。	今回の拡充では、「二頭政治」をはじめとする古代吉備の歴史を体系的に学び、その魅力を体感できる展示を行うとともに、歴史的価値を研究・発信する機能を強化します。これらを通じて、多くの来館者に魅力を伝えると同時に、市民の皆様の「地域への愛着」と「誇り」の醸成につながる観光コンテンツにしていまいりたいと考えています。
	全国的に文化財資源を地域活性や観光に活かす動きが顕著である。	
	二頭政治、古代吉備を感じられる施設にしてほしい。	
	「地域への愛着」と「誇り」を醸成するような施設になることを期待する。	
(4) 拡充する機能	最寄り駅からの移動手段が少なく不便である。	来館者の皆様にとって、アクセスしやすい環境づくりは、ビジターセンターの魅力を最大限に活かし、地域を活性化させる上で重要な要素であると認識しております。今後の検討課題として、施策の参考とさせていただきます。
	乗り捨て可能なレンタサイクルを整備してほしい。	
2 配置計画・施設計画・展示計画		
(3) 展示イメージ	古代吉備が誇る高度な文化の連続性と、その歴史的集大成としての重要性を前面に出した展示をしてほしい。	特殊器台の展示拡充や実物・最新情報の重視といったご要望を踏まえ、魅力ある展示空間となるよう機能拡充してまいります。具体的には、出土品の実物展示により古代吉備の歴史的価値を伝えとともに、体験コーナーやシアターを通じてその魅力を体感できる環境を整えます。また、交流ゾーンでは古代吉備への関心を高めワクワクできる体験空間を創出することを考えております。
	特殊器台の精巧なレプリカを並べるなど、造形美と歴史的意義が視覚的に伝わる展示にしてほしい。	
	特殊器台の展示を拡充してほしい。	
	レプリカより本物を多く展示した方がわかりやすい。	
	古代吉備への関心が高まるよう、発掘調査など最新の情報を展示してほしい。	